

あべNEWS



第166号(創刊1989・7・1)

あべさんちのかわらばん

2007年4月25日

- 1 ちいさいおうち
- 2 能登半島地震 被害をうけた建物の特徴
- 3 命を守る第一歩は
- 4 塩キャベツ
- 5 スリランカフレッシュティー
- 6 桜 さくら さくら
- 7 第11回つりっこ大会
- 8 日曜美術館30年展
- 9 吉村作治の早大エジプト発掘40年展

ちいさいおうち

Once upon a time
there was a Little House
way out in the country.
She was a pretty Little House
and she was strong and well
built. The man who built her
so well said, " This Little Ho-
use shall never be sold for ...

むかしむかし、
ずっと田舎の静かなところに小さいお家がありました。
それは、小さい きれいな家でした。
しっかり 丈夫に 建てられていました。
この丈夫な家を建てた人は言いました。
『どんなたくさんお金をくれると言われても、この家を売
ることはできない。私たちの孫の 孫の そのまた孫のと
きまで、この家は、きっと立派に建っているだろう。』
それから長い間 小さなお家は、丘の上からまわりの景色
を眺めて、しあわせに暮らしていました。

月日が流れ、「ちいさいおうち」のまわりは大きな道がで
き、家が立ち並び、お店ができ、ビルが立ち並ぶようにな
りました。「ちいさいおうち」の前を高架線が行ったり来
たりあるようになり、下の地面の中を地下鉄が走るようにな
りました。

さて、小さな家は怎么样了しょう。
続きは読んでのお楽しみ・・・。

絵と文 パージニア・リー・パートン (アメリカ)
訳 いしいももこ 発行 岩波書店

※ 石井桃子さん 3月10日に100歳を迎えられま
した。今もお元気でいらしゃられる様子が、『母の友』の
5月号で紹介されています。石井さんは、一時、宮城県に
居を移し、酪農業に取り組んでいらしゃったそうです。

能登半島地震

被害をうけた建物の特徴

3月25日の能登半島地震において、輪島市門前町・輪島市・穴水市・七尾市が震度6強でした。

被害は全壊585棟、半壊1,149棟に上りました。

特徴としては、古い(50年くらい経過)構法の木造建物(土塗壁あるいはその上に板張りをしたもの)が、多く被害を受けています。その被害の特徴は・・・。

① 伝統工法に見られる垂れ壁付き独立柱の折損がありました。

伝統工法の耐震診断をする場合、この垂れ壁付き独立柱が150×150以下は耐力として認めないこととしています。理由はこのように折損するからです。



② 道路に面した開放的な店舗併用住宅の多くが傾いてしまいました。

地震が東西方向に揺れたことにより、その方向に弱い開放的なところが被害を受けたようです。



開放的な住宅は店舗に限らず一般住宅に多く見られ、日本住宅の特徴ともいえます。今後は、その耐震の裏づけを検証しながら建築することが必要だと実感しました。

③ 柱が土台から外れているがみられました。

柱は屋根や2階の床を支える重要な構造体です。その柱が地震のとき土台から引き抜かれる現象があることが、意外に知られていません。



柱は土台に「ほど」で接続しますが、そのときに金物で引き抜きに対して抵抗することが必要です。

古い家屋の場合は腐れや白ありのどにより根元がなくなっていることが多いので点検が必要と感じました。今回の被害はまさにこのことが原因でした。

命を守る第一歩は

木造住宅の倒壊は1階の柱が引き抜けるところから始まり、1階部分が横倒しになるのが最大の特徴。倒壊した住宅の1階部分には、横倒しになった壁、支えを失った天

井、さらに2階部分が折り重なり、あき間なく埋まってしまっています。阪神大震災では、この際の圧死者が最も多かったとされています。

防災・減災において、最も優先されるべきは人命です。諸事情から耐震改修になかなか踏み切れない住まい手も多いのも現実。それならば、「せめて2階で寝起きしてほしい」。これが**実大実験**で明らかになった最大の教訓です。

◇ 実大実験

今年3月末まで、文部科学省による「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」（通称：大大特）という研究が「防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター」で行われました。大大特では木造住宅の耐震改修に関して、2回の実験を実施しています。

この防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター（通称：Eディフェンス）は、2005年に完成した世界最大の「震動破壊実験施設」です。

□ ■ 塩キャベツ ■ □

旬のやわらかい春キャベツにぴったり。シンプルな味つけなので、キャベツの美味しさを満喫できます。

< 材料：4人分 >

- ・ キャベツ 小8枚 (300g)
- ・ ごま油 大匙1
- ・ ごま油 大匙1
- ・ 白ごま 大匙1

< 作り方 >

- ① キャベツのしんを取り、3～4等角くらいに切る。
- ② キャベツをボウルに入れ、ごま油をかけてボウルの底からよくなじむように混ぜる。塩をぶっつけてさらに混ぜる。

- ③ 白ごまをかけて出来上がり。

※ 美味しくいただくポイントは、やわらかい春キャベツであること。

□ ■ スリランカフレッシュティー ■ □


3月の末に、発売開始となりました。

いつもの如く、それぞれに安定した味わいの紅茶です。前回のウヴァとまではいきませんが、ヌワラエリア、ルフナが美味しいと感じました。今回のヌワラエリアは冷めても美味しく、ポットにいれてもち歩いています。

◆ 紅茶の入手方法

紅茶研究者である磯淵猛さんの紅茶専門店「ディンブラ」で販売しています。 電話：0466-26-4340

□ ■ さくら さくら さくら ■ □

今年の一関の開花は4月12日でした。
4月20日には、磐井川の堤防の桜が満開。
4月25日現在でも楽しめるのはうれしい限り。巖美の桜は今年は、チラホウ咲くのみ。木々の間から空が見え、桜の花が空に浮いているようなちょっと寂しい風情です。

□ ■ 第11回つりっこ大会 ■ □

大会当日の朝、330kgのゴジマスが磐井川に放流さ

れます。上位入賞者には、賞品がおくられます。

◇ 日時：5月4日 午前9時～11時

◇ 会場：いつくし溪流広場

◇ 申込方法：当日 参加費：二千元（小学生：千円）

◇ 問合せ先：29-2954（藤原）

※ 雨の日は中止になることもあります。

◆ うれしい番外編・・・つかみ取り大会

つりっこ大会終了後の午前11時30分から、小学生以下対象、参加費無料のつかみとり大会があります。

常連の子ども達は、バケツをもってくるとのこと。昨年は、50円もある魚をゲットしたお子さんがいたそうです。

□ ■ 日曜美術館30年展 ■ □

1976年より続くNHKの「日曜美術館」で取り上げられた作品73点が、4つの章に分けられて展示されます。

第一章 夢の美術案内 前田青邨、松本峻介、ルノワール、他
第二章 作家が作家を語る 高村光太郎、棟方志功、モネ、他
第三章 アトリエ訪問 岡本太郎、芹沢銈介、濱田庄司、他
第四章 知られざる作家へのまなざし 小泉清、田中一村、他
テレビの紹介では、武満徹さんがルドンを、手塚治虫さんが鳥獣戯画について語っていました。

◇ 会期 4月7日(土)～5月13日(日)

10時～19時（入館は16時30分）

◇ 会場 岩手県立美術館 019-658-1711

◇ 入場料 一般800円 高校・学生500円
小中生300円

◆ 耳寄り情報 5月5日(土・祝)は、18歳未満・・・企画展および常設展の観覧料が無料なそうです。

□ ■ 吉村作治の早大エジプト発掘40年展 ■ □

会期 5/25(金)～7/22(日)

9時～16時45分

会場 仙台市博物館 022-225-3074

入場料 一般1200円
高校大学生600円
小中生500円

◆ 特別展記念講演

「古代エジプトを掘る」

講師 吉村作治氏（早稲田大学客員教授）

日時 5月25日(金) (1) 13時～14時

(2) 15時～16時

会場 博物館ホール

定員 200名（申込制：無料）

※ 申込方法・・・5月7日(月)消印有効。

往復葉書にて、希望する講演会名と番号(1か2)・住所・氏名・電話番号を明記し、仙台市博物館「エジプト展講演会(1)～(2)」係まで(応募多数の場合は抽選)。



発行：(株)あべ建築開発 巖美町字沖野々145-2
総編集長：阿部眞昭 編集長：阿部えみ子
電話 0191-29-2511 fax 0191-29-2583